

Four Seasons Rokkoubu



2019-2020 六甲部報 春号（最終版）



Four Seasons に寄せて

2019年度六甲部部長 柏原佳子

6月13日 ZOOMにて西日本区理事キャビネットの引き継ぎ会が開かれました。

本来なら多くのワイズメンのもと、舞台上で執り行われる恒例の儀式であり、1年間の様々な行事準備と開催にご尽力を尽くされたキャビネットの皆さまに、画面を通して感謝を送りました。同様に、規模は違いますが、六甲部キャビネットも達成感のない複雑な気持ちは否めなかったと思います。

そのなかで、美しいカラーと優しさに溢れた六甲部報は、確かな存在感を残したと思います。ひとえに広報委員長 美崎 晋さまと 広報委員 鯖尻佳子さまのお働きによるものと感謝いたします。突然のコロナ襲撃で、一時は呆然としましたが、やはり鮮やかな記録として有終の美を飾りたいと思い直しました。

YMCA 支援要請の件：神戸 YMCA より、YMCA リーダー・学生達への支援として具体的な数字で要請がありました。400万円という金額に対して、六甲部キャビネットと各会長・YMCA 総主事との ZOOMでの会議が行われたのは、5月25日でした。

6月15日全クラブより、はからずもぴったりの寄付金が集まりました。部長の最後のお仕事となりました。感謝です。1年間本当に有難うございました。

六甲部 8 クラブ会長へ感謝メッセージ

六甲部部長 柏原佳子

部長主題：スピナーカーの帆に風を集めて
副題：その風は六甲部のみなさまです。



今期、会長の皆さまには、区や部からの要請に対して積極的にご協力いただきました。

3月以降は、残念なことでしたが、第2回評議会に対してもクラブの皆さまをリードくださいました。コロナ感染症

の終息を終えた暁には又、各クラブをお尋ねさせていただきます。有り難うございました。

神戸クラブ 尾上尚司会長

会長主題：交流の輪を広げ、楽しく、継続的な奉仕活動を行おう



2年続けての会長職、お疲れ様でした。特に今年は、90周年記念例会ホストクラブの会長とあって、お気遣いは大変だったことと推察いたします。いつもメールへのお返事は、1~2位を争うスピード。明確さと優しいメールでご対応をいただき感謝です。素敵なメネットさまが、柏原さんのファンですよとおっしゃってくださったとか、なにより嬉しいお言葉でした。

西宮クラブ 小野勅紘会長

会長主題：「兼愛」⇒「残心」
自分を愛するように他人を愛しましょう。そして、心に残る活動を展開しましょう。



昨年の EMC 事業主任から今年の会長職お疲れ様です。西宮クラブさまとは、私が六甲部転会時から大変お親しくさせていただいています。歴史あるクラブの、個性溢れるメン面の中でも特にユニークで独特な雰囲気は憎めないお人柄で、知識の豊富さにも驚かされます。お返事は時として遅れ気味♪でしたがその後、丁寧な長文をいただき恐縮です。

神戸西クラブ 岡山泰典会長

会長主題：震災復興の長田にワイズの種を蒔き、根を生やそう。



クラブ員が少数だからとはいえ、来期も3年連続で会長職を引き受けられるのは、真摯で我慢強く、明るいお人柄が頼りにされるから、と思います。ローンボウルズ大会では同クラブの国際交流主査の代理をされ、共に芝生の上で競い合ったあの日を覚えています。大会は部会の1週間前で、参加人数は少数でしたが、楽しくプレーしたあの日が懐かしいです。

神戸ポートクラブ 水野雄二会長

会長主題：できることを、できる時に、できるだけ楽しく奉仕 パートII
To serve as possible, as much fun as possible, when possible



神戸 YMCA 前総主事でしたらしたときに初めてお会いしました。その時と変わらないソフトな笑顔で、いつも的確にまた優しくご助言をいただきました。さすがにいつも早いお返事、回答で六甲部メールをリードしていただきましたこと感謝です。YYY フォーラムの中止は、本当に残念でしたが、Yサ主査を支えられ又、会長の素敵な司会の例会訪問は楽しい思い出です。

宝塚クラブ 多胡葉子会長

会長主題：ときめきライフをワイズ活動で！



銀髪が美しく、柔和な笑顔で雄弁に語られる反面、クラブの皆さまへのお心配りはさすがと感心致します。今年は、孫メットの石田大樹君が YEEP に参加され六甲部がグローバル

になりました。地域奉仕の宝塚市民クリスマスを開催され、その成功は2年に渡って頑張られた会長のご努力の結果かと思えます。部からの支援金が弾みと成り、更に続いていくことを祈ります。

さんだクラブ 安行暁子会長

会長主題：もう一歩前へ！



次期は、六甲部部長を支える2期連続の会長職、お疲れ様です。YMCA 主催のチャリティワインを楽しむ会でも、メンと揃ってご参加の姿は羨ましい限りです！ 恒例、夏の花火と納涼例会は、由緒ある

ご自分のお寺で開催され、このユニークな例会はどのクラブもまねの出来ないものです。部長公式訪問は浴衣姿で楽しませていただきました。

神戸学園都市クラブ 杉本隆人会長

会長主題：広げようワイズの和、令（秩序）をもって



今期、15名に会員を増やされ素晴らしい！

やんちゃの子供のようなイメージを抱かせながら、退会された方やメンバーへの心配り、豊富なアイデアにも驚かされます。

一度 YMCA チャリティゴルフで一緒しましたが、その後1~2度「柏原さん、ゴルフしよ」とお誘い頂きました。一度、ラウンドしながらゆっくり語りあってみたいお人です。

芦屋クラブ 島田 恒会長

会長主題：ミッションを体する共同体

Mission-Based Community



EMC に焦点を合わせ、違った角度から講師と多くのゲストをクラブ例会に招かれました。牧師や教会関係の方、多彩な交友関係に驚きました。9月~1月まで例会は、いつも賑わい

このままであれば少なくとも3~4名のメンバーをクラブに迎えられたのではないかと思う勢いでしたが、コロナのために3月から例会は中止、EMC はしばらくお休みになりました。クラブのMLでの近況報告に丁寧に返信される姿勢からも、その無念さが伝わってきます。

YYY フォーラムが中止になって

Yサ・ユース事業主査 丹羽和子

期初に開催した「六甲部 Yサ・ユース事業研修会」での意見を軸にして今期の活動がスタートしました。今年度の「YYY フォーラム」のテーマは、昨年度に引き続き子どものいじめ問題を取りあげ、全国の YMCA が取り組む 2 月第 4 水曜日のピンクシャツ運動に協力することとなりました。

基調講演にはこのテーマに意欲的な横浜ワイズ活動を、横浜 YMCA 総主事田辺努氏にお願いしました。「いじめ反対」の世界的な意志表示カラーであるピンクの T シャツや軍手を着用しアピールする等の準備も整っていました。ところが、新型コロナウイルスの感染拡大事態に遭遇し、残念ながら直前に中止となりました。しかしながら、今回のフォーラムへの参加予定者数は各クラブからの 30 名ほどで、ユースの参加予定はありませんでした。研修会の声にあった「既に来上がった会を無理やりやっている感じ。行ってみたら意外とユースが少なくて…」とか「ワイズが主導で準備するだけではなく、各ユースの意見を集めながら進めるのが良いのでは…」等、するどい、また貴重なご意見を十分に取り入れることができなかつたことが大きな反省点です。

ワイズと YMCA、ユースの交流の最適な場として、参加したくなるような YYY フォーラムの実現を今後期待いたします。

最後になりましたが、前半、主査が足の負傷のためご迷惑をおかけいたしました、心よりお詫び申し上げます。同時に、それにもかかわらず支えてくださいました柏原部長、役員様はじめ多くの方々に感謝し心よりお礼申し上げます。

「キラリと輝くアート展」への思い

地域奉仕・環境事業主査 青柳美知子

2020 年 4 月 28 日～29 日に開催予定で、準備を進めてきた第 5 回「キラリと輝くアート展」は、3 月 2 日に兵庫県民会館の現場で展示の受け持ち場所も決め、第 2 回の準備委員会も終えて、ほぼ準備が整っていた。その後、3 月中旬にコロナ感染症拡大の為、六甲部部長、役員の皆様方と止む無く中止の決定の決断をする事になった。

展示を楽しみに予定して下さっていた各施設の皆様には、ご理解いただいても申し訳なく本当に残念でならない事であった。準備中、各施設の皆様と連絡を取り合う中、出展を本当に楽しみにしておられる事が良くわかり、今まであまり解っていなかった私も、やっこのアート展の大切な意味を感じ学ぶことが出来た。

この「キラリと輝くアート展」は 2015 年度の六甲部メネット事業として、当時の五十嵐かほるメネット主査が始められたが、その後続行する為 CS 事業として引き継がれた経緯があった。第 1 回目は芦屋市民センター、2 回目は宝塚公民館、3 回目は須磨教会、4 回目は新しくなった YMCA 会館であり、今回は 5 回目の開催のはずであった。毎回作品の素晴らしさに心打たれたが、今回の目的として、「障がいのある方々のアート作品を展示し、皆さんの社会と関われる場所の提供と、そのアートから見えてくる個性や可能性を多くの人達と共有し、一緒に楽しみ理解する」であった。

この事業こそ、ワイズメンの為すべき事かと思われた。次期の開催も危ぶまれるが、六甲部として、メネットの皆様と協力して賑やかな行事になってほしいと希望します。

広報委員として

広報委員 鯖尻佳子

この一年、広報委員として美崎広報委員長のサポート役として写真をたくさん撮ってきました。六甲部報の作成に影ながら参加させて頂いたことは忘れられない素敵な思い出です。新型コロナウイルスのために3月からは少し残念な気持ちもありましたが、これもまた振り返ったらいい経験になるのではと思っています。六甲部部長柏原佳子様、また六甲部書記上野恭男様のお二人にはいつも励まして頂きました。感謝の気持ちいっぱいでございます。広報委員長美崎 晋様、本当にお世話になりました。そしてお疲れ様でした。楽しく出来たのも美崎さんのお蔭です。改めて感謝申し上げます。

六甲部広報委員長としての思い

広報委員長 美崎 晋

2018年7月から足掛け2年、六甲部広報委員長としてお仕事させていただきました。前任の鯖尻ワイズから丁寧な手ほどきを受けましたお陰で、特に戸惑うことはありませんでした。今年度、柏原部長から六甲部報を季刊として発行したいとのご要望があり、微力ながら協力させていただくことになりました。Four Seasonsと名付けられた部報は、皆様の活動内容を、多くの人に広くお知らせしたいという思いで作成いたしました。あれもこれもと内容を入れると長ったらしい部報になってしまい、それこそ誰も読んで下さらなければ意味がありません。そこでたくさんの写真を文章の間にレイアウトして、一文を短くし、読みやすいように工夫しました。もちろん、素人の作業ですから編集

のプロが作成したものに比べると随分見劣りしたかもしれませんが、この部報作成のおかげで自分自身にも記念碑となるような活動ができたと思っています。

さて、次期広報委員長には小野勅紘ワイズが就任されます。いろいろと新しい試みやアイデアをお持ちで期待に胸が膨らみます。私の時以上にどうぞ皆様のご協力のほどお願い申し上げます。もちろん私も協力は惜しみませんので、六甲部の広報活動にご尽力をお願いいたします。

最後になりましたが、広報委員として協力していただいた鯖尻ワイズ、ホームページ掲載の際にこちらの要望を嫌な顔一つせずに、力になってくださった功刀様には感謝の気持ちしかありません。本当に有難うございました。また、六甲部報「Four seasons」の作成に精力的に取り組んでいただき、アドバイスや激励の言葉をいただいた柏原部長や上野書記には、本当に頭が下がる思いです。Bon VOYAGE の声とともに出港したものの、航海の終盤にコロナウイルスという見えない敵のために、色々と六甲部の運営に支障が出たとは思いますが、しかし何とか難破せずに荒れた海の航海を無事に終えることができそうです。広報活動にご協力いただいたすべての方に感謝します。本当に有難うございました。

Merci beaucoup !



1年間ありがとうございました！

